

グループ最大級の物流拠点が完成 ～加須PDセンター2号倉庫と危険物倉庫を竣工～



センコー株式会社(社長:福田泰久、以下「センコー」)は、8月9日、埼玉県加須市の加須PDセンター敷地内に2棟目となる「加須PDセンター2号倉庫」を竣工しました。

2016年11月に開設した加須PDセンターは、圏央道の「白岡菖蒲 IC」から約10kmにあり、首都圏全域をカバーするだけでなく、東日本や西日本をつなぐ高速道路へのアクセスの良さから、物流拠点として好立地です。

加須PDセンターは、約10万5千㎡の敷地に、1号倉庫(地上2階建て、延床面積約4万8千㎡)と今回竣工した2号倉庫(地上5階建て ※倉庫部分は3階建て、延床面積約5万2千㎡)および危険物倉庫3棟(平屋建て、延床面積約3千㎡)で構成しており、5棟合計の延床面積は約10万3千㎡です。これは当社グループ最大級の物流拠点となります。

2号倉庫は、常温倉庫エリア(延床面積約2万5千㎡)と冷凍・冷蔵倉庫エリア(延床面積約2万7千㎡)に分かれ、常温エリアをセンコーが、冷凍・冷蔵エリアを株式会社ランテック(社長:山中一裕)が運営するグループ初の共同施設です。

2号倉庫の建物両面には、78台のトラックが接車できるバースがあり、うち40台分は冷凍・冷蔵商品に対応するドックシェルターを備えています。

また、ICカードによる入退室管理や監視カメラなども完備しており、セキュリティ対策も万全です。

さらに、加須PDセンターでは、新たに自家発電機や給油スタンドも設けるなど、BCP(事業継続計画)に対応するとともに、5棟全てにLED照明を採用し、1号倉庫と2号倉庫の屋上には太陽光パネルを設置しています。

また、2号倉庫内に従業員食堂を9月にオープンさせ、保育所も下期開設の準備を進めるなど、働きやすい職場環境を整えています。

<2号倉庫の概要>

1. 所在地 : 埼玉県加須市中ノ目7
2. 建物構造 : 倉庫棟 地上5階建て(鉄骨造) ※倉庫部分は3階建て
3. 延床面積 : 倉庫棟 51,490㎡ (約15,600坪)
<内訳>
 常温倉庫 24,284㎡ (約 7,300坪)
 冷凍冷蔵倉庫 27,206㎡ (約 8,300坪) ※自動倉庫あり
4. 設備 : 貨物用エレベーター 2基
 乗用エレベーター 2基
 垂直搬送機 7基

<危険物倉庫の概要>

1. 建物構造 : 危険物倉庫3棟 平屋建て(鉄骨造)
2. 延床面積 : 危険物倉庫3棟合計 2,892㎡ (約 880坪)

～参考～

<1号倉庫の概要>

1. 開設日 : 2016年11月8日
2. 建物構造 : 倉庫棟 地上2階建て(鉄筋鉄骨造)
3. 延床面積 : 48,249㎡(約14,600坪)

<加須 PD センター 延べ床面積5棟合計>

1. 敷地面積 : 104,859㎡ (約31,700坪)
2. 延床面積 : 102,631㎡ (約31,100坪)

以上